

外部表彰事例

リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において**大浜工場**が推進協議会会長賞を受賞
(2003年10月)

尼崎市から**阪神工場****尼崎・丸島分工場**・**本社阪神事務所**、計3事業所が「排水管理優良事業所」として表彰
(2003年10月)

東京本社が東京都中央区よりリサイクル活動推進に対する感謝状を受賞
(2003年11月)

第8回新エネ大賞においてクボタのバイオマス燃料製造システム「**膜型メタン発酵システム**」が経済産業大臣賞を受賞
(2004年1月)

エネルギー管理優良工場表彰において**京葉工場(船橋)**が経済産業大臣賞(熱部門)、**堺製造所**が近畿経済産業局長賞(電気部門)を受賞
(2004年2月)



クボタの環境保全活動の歩み

(年 度)

- 2003年 ● 環境推進中期計画策定
- 2002年 ● 環境監査制度の見直し、再開(主要関連会社を含む)
- 2001年 ● 地球環境憲章改訂、環境自主行動計画策定
- 2000年 ● 国内全事業所でISO14001認証取得
- 1999年 ● 環境報告書第1号発刊
- 1998年 ● 全従業員に環境意識アンケート調査実施
 - 環境家計簿運動開始
- 1997年 ● ISO 14001認証取得(筑波工場、新淀川 環境プラントセンター)
- 1996年 ● 環境ホームページ開設
- 1995年 ● 環境管理規程の改訂
- 1994年 ● 環境監査制度の見直し、充実
- 1993年 ● 環境に関するボランティア・プラン策定
- 1992年 ● 地球環境憲章制定
 - 地球環境委員会設立
 - 第1回地球環境大賞産経新聞社賞受賞
- 1991年 ● 社内環境功績賞制定
 - 日経ビジネス環境ランキング1位
- 1990年 ● クボタ創業2世紀ビジョン「地球環境の保全に貢献できる会社」・企業スローガン「美しい日本をつくろう」制定
- 1984年 ● 作業環境管理組織の整備強化
- 1978年 ● 公害管理部を環境管理部と改称
- 1973年 ● 中央公害パトロール(監査)制度発足
- 1972年 ● 本社に公害管理部、全工場に公害管理課設置

用語解説

- LCA (Life Cycle Assessment)**
資源の採取から、製造、加工、物流、販売、使用、リサイクル、廃棄に至るまでの一連の各工程で環境負荷を定量的に分析・把握し、トータルな環境改善をめざそうとする手法のこと。
- ゼロ・エミッション**
資源として再利用できない廃棄物の排出をゼロにする活動を指す。実際には廃棄物をゼロにすることは困難で、最終的に埋め立て処分に回る廃棄物をゼロにすることを目標にする企業が多い。
- グリーン調達、購入**
環境への負荷の少ない製品やサービスなどを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること。
- SI接頭語**
n(ナノ): 10^{-9} 、p(ピコ): 10^{-12} 、M(メガ): 10^6 、G(ギガ): 10^9 、P(ペタ): 10^{15}
- TEQ (Toxic Equivalents)**
ダイオキシン類の量を最強の毒性を有する2,3,7,8ジベンゾーパラジオキシンの量に換算した毒性等量。
- BOD (Biochemical Oxygen Demand)**
生物化学的酸素要求量。有機物による水質汚濁の指標で、水中の有機物が微生物により酸化分解されるのに要する酸素量から算出される。
- COD (Chemical Oxygen Demand)**
化学的酸素要求量。有機物による水質汚濁の指標で、水中の有機物が酸化剤により酸化分解されるのに要する酸素量から算出される。
- PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)**
企業が工場などの操業によって環境中(大気、水域、土壌)に排出したり、廃棄物として移動した調査対象環境汚染物質の量を、自ら把握し国に報告し、国はデータを収集・整理し、公表する制度のこと。